



相馬市成人式 「二十歳のつどい」



市成人式～二十歳のつどい～は1月11日、市民会館で行われ、二十歳の成人らが大人の自覚と責任を胸に、式に臨みました。

この特集では、当日の様子を写真で紹介します。

※詳細は26ページの「表紙のおはなし」に掲載しています。



成人式という晴れ舞台で司会をすることに、非常に緊張していますが、頑張って務めたいと思います。

これからは大人として精神的にも成長できるように努めたいです。



狩野璃李さん

今日を機に、周囲への感謝を忘れず、自立した人間として歩んでいきたいです。

私はとって、大人とは自らの行動に責任を持つての存在です。

皆さまの晴れ舞台を少しでも彩れるよう、精いっぱい頑張ります。



佐藤晃太さん

式の開始直前、司会を務める成人代表の2人に意気込みと将来への抱負を聞きました。

司会者インタビュー

成人代表意見発表

※あいさつの一部を抜粋して掲載しています。

私は今、大学で物理学を専攻し、日々勉強に励んでおります。子どものころから興味の尽きなかった宇宙のこと、マクロの視点では予想ができない挙動を示す量子の世界など、高校まででは大まかにしか分からなかったそれらの現象について、より専門的に研究するための基礎を学んでいます。

長い間、地震や津波、台風による水害など、数々の困難と戦ってきた私たちは、積み重なった経験を後世に伝えることができます。東日本大震災から今年で15年、次第に過去の出来事になりつつあります。幼くも震災を経験した私たちにとって、その記憶を風化させずに伝えしていくことが、このような困難に立ち向かう一つの手段なのではないでしょうか。

最後になりますが、私たち新成人はこれから一人の大人として、新たな未来の1ページを作り上げることになります。まだまだ未熟な部分も多い私たちですが、これまでお世話になった全ての方々や相馬への感謝の気持ちを忘れず、精いっぱい努力してまいります。



里見颶海さん

現在、私はこの相馬から遠く離れた京都という土地で、忙しくもとても充実した毎日を送っております。大学では、中学生のころから興味を持っていた英語学を中心に学んでおり、言語習得論や音声学、国際文化学など、さまざまな視点から「英語」について研究しています。

相馬を離れてすぐのころは、自分にとって大きすぎる環境の変化に慣れることができず、時には帰りたいと思うこともありました。しかし、そんな時は私を笑顔で送り出してくれた家族のこと、熱心に指導してくださった恩師の方々のこと、そして憧れた場所で学ぶことを志した過去の自分自身のことを思い出しながら、ただ一生懸命に毎日を過ごしていました。今となっては、京都は自分にとってとても居心地の良い場所に感じられるようになりました。

これから先の長い人生は、きっと楽しいことだけではなく、多くの悲しいことやつらいことも待ち受けているでしょう。しかし、どんなに大きな壁でも乗り越えられる強さを、私たちはここ「相馬」で培ってきました。どんなに苦しいことがあっても、どんなに大きな失敗をしても、その経験はきっといつの日か大きな財産になります。自分を信じ、支えてくれる周りの人々を信じ、これから的人生も強くたくましく生きていきましょう。



寺島梨々花さん



当日の様子を、市公式
YouTubeで紹介しています。
ぜひご覧ください。

